

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	2233 天然記念物保護管理ボランティア育成事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本施策	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	目	02	文化財保護費
		細目	434	文化財保存経費
行革大綱の重点事項番号		143	細々目	53 天然記念物保護管理ボランティア育成事業
担当部課	コード	450400	担当者氏名	其道 和也
	名称	生涯学習課		

事務事業の概要(Plan)

【全体事業計画】	
対象(誰を、何を)	天然記念物を保護・管理してもらう人 ※対象件数 30
成果(どうする)	天然記念物の保護管理ボランティアを育成し、実際に管理してもらうことで、天然記念物の保存に努める。
根拠法令・要綱等	文化財保護法・三重県文化財保護条例・伊賀市文化財保護条例
開始年度	平成 22 年度
終了年度	平成 23 年度
事業概要	伊賀市内には30件以上の天然記念物があり、保護していくにあたっては市民の理解と協力が必要なため、管理ボランティアを育成していくことが大切で、将来実際に天然記念物の管理を行ってもらうことも可能なように、管理にあたっての必要な知識や技能を習得してもらおうと、管理ボランティア育成講座を開催する。

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費(見込)	千円
4 年間収入(見込)	千円
5 市内の類似施設	

【検証指標】

活動指標	指標名	単位	現状値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
	講座回数	回		2	2	2

成果指標

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	現状値			
				H21	H22	H23	H24
	ボランティア	登録された人数	人		5	10	15

【投入コスト】

投入コスト	H22 所要額	H23 所要額	H24 所要額	H25 所要額
直接事業費計(A)	100	100	100	
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	100	100	100	0
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0人
フルコスト(A)+(B)	820	820	820	0

【事務事業企画の背景、状況変化見通し、市民意見等】

この事務事業を新たに企画した背景は何か？
天然記念物はそのままの状態を維持することが重要であるが、病気になったり、植生に変化が起こり、外来種が侵入したりしている現状がある。

この事務事業を取り巻く状況(対象や根拠法令等)は、今後どのように変化していくか？(見通し)
天然記念物の中には個人の所有で適正に管理が行われていないものがあり、このままでは滅失の危機にあるものもあり、管理者の育成が急務となっている。

この事務事業に対して関係者からどのような意見や要望が寄せられているか？

本事務事業は、どのような状態になれば完了とみなす(休止・廃止となる)か？また、その目安はおおよそ何年後か？
保護していくべき天然記念物を実際に管理できるボランティアが育成されること

【事前評価】

該当項目に○をつけてください。		【特記事項】
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	天然記念物の管理者が必要となった場合に、現状では誰も頼める人がいない。
有効性	事務事業を実施しない場合の市民への影響は大きい。 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 社会経済情勢・市民ニーズなどから、緊急性は高い。 事務事業の対象・成果の設定は妥当である。	【根拠】 【根拠】 【直ちに着手・実施しなければならない(先延ばしできない)理由】 【根拠】 実際の管理は、ある程度の専門知識を学習してからでないといけない。
効率性	事業費や整備後の管理経費の算定にあたって、コスト削減策を考えている。また、将来のコスト増要因について対策を考えている。 受益と負担の公平性が考慮されている。 本事務事業と類似の目的・手段をもつ事業がある。 本事務事業の企画に際して、代替案を検討した。 本事務事業の実施にあたって、廃止又は統合する事業がある。 コストに見合った効果が見込める。 将来的に民間等への移管が可能である。	【具体的内容】 【根拠】 【事業名称 今後どのように連携して成果向上を図るか】 【比較検討結果】 【事業名及び削減される一般財源額】 【根拠】 できる限り経費節減に努め、実際の管理はボランティアで行うため。 【いつごろ】

担当課長氏名	事業実施に対する担当課長の意見
楨田ちえみ	伊賀市の重要な自然、歴史、文化を市民の理解と協力のもと、保護保存に努める人を育成することが必要です。